

人権教育研究テーマシート

担当（分掌、学年部、教科等） 保健相談課	実施時期 平成 28 年 5 月 11 日（水）
テーマ 指導上注意や配慮を要する生徒の情報を共有する 校内職員研修	
「静岡県が目指す基本的な方向性」との対応 （対応する番号に を記載する。複数選択可） 参照：静岡県教育委員会「様々な人権問題と人権学習」	1 人権に対する正しい理解を深めること 2 人権感覚を高めること 3 自尊感情を育てること
内容 目的 全職員で指導上注意を要する生徒について情報を共有し、一人一人の生徒が安定した学校生活を送ることができるように支援策を検討する 対象生徒 ・ 特別選抜（長欠）入学生徒の状況 ・ 身体や心の問題を抱えていて、学校生活が不安定になっている生徒の状況 ・ 家庭などで問題があり、学校生活が不安定になっている生徒の状況 方法 ・ 事前に資料として、全クラスから対象生徒の状況、健康調査の状況、アスペルガー症候群の説明資料などのその年の研修で参考となる資料をとりまとめ配布する。 ・ 各クラス担任より生徒の状況や対応について注意すること等の説明を行う。学年主任等からも補足説明をする。質疑応答も行う。 ・ 保健室から健康調査の状況から注意を要する生徒等についての説明を行う。 ・ スクールカウンセラーから助言をもらう。 ・ まとめ	
実施後振り返って ・ 実施した教員の感想・意見 実際に接している生徒の背景を知ることができ、また、対象となる生徒に対応で注意する点ができることにより、その後の指導がしやすくなる。また、対象生徒にとっても、自分に合った指導方法を受けることができる。毎年 5～6 月に行っているが、大変意義が感じられる研修である。この研修を通じて様々な生徒がいることを知ることができ、個々の生徒の人権を尊重した指導を促すことができると思われる。	